

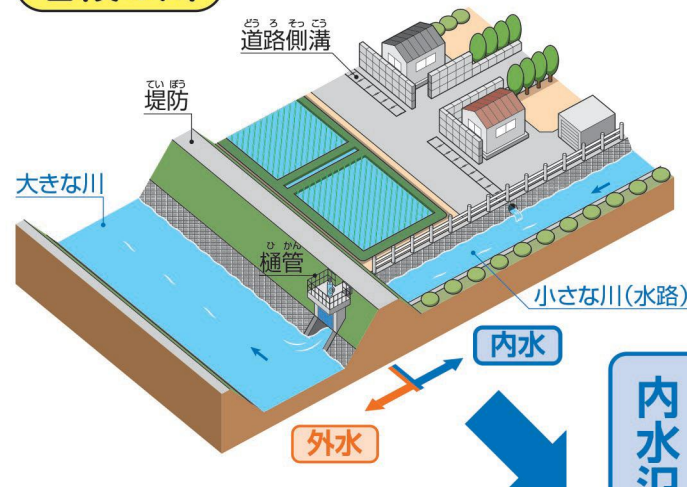
知っておこう!

外水氾濫（洪水ハザードマップ）と内水氾濫（内水ハザードマップ）の違い



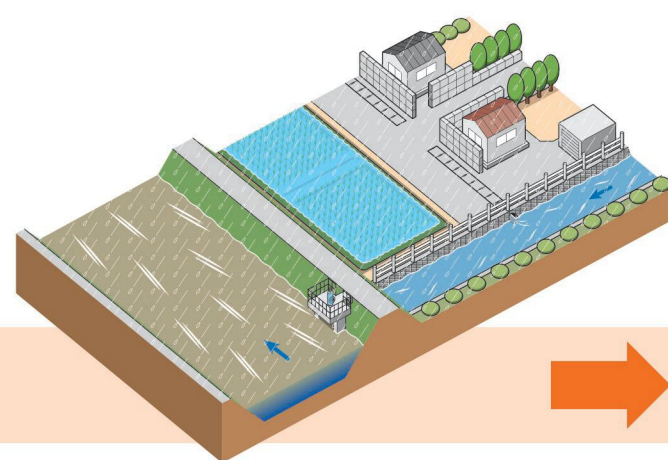
外水氾濫の様子

普段の川

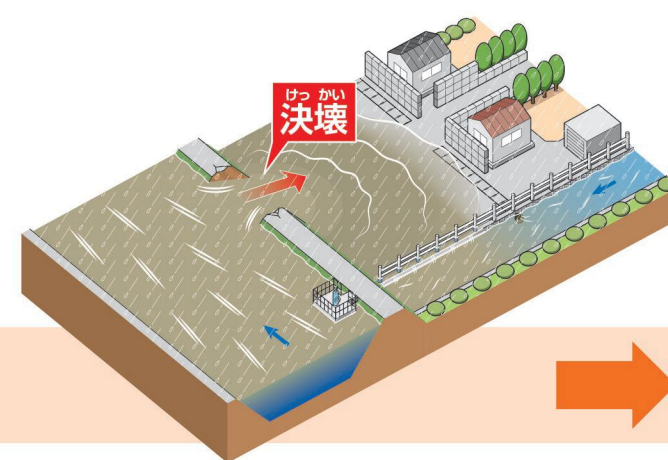


内水氾濫の様子

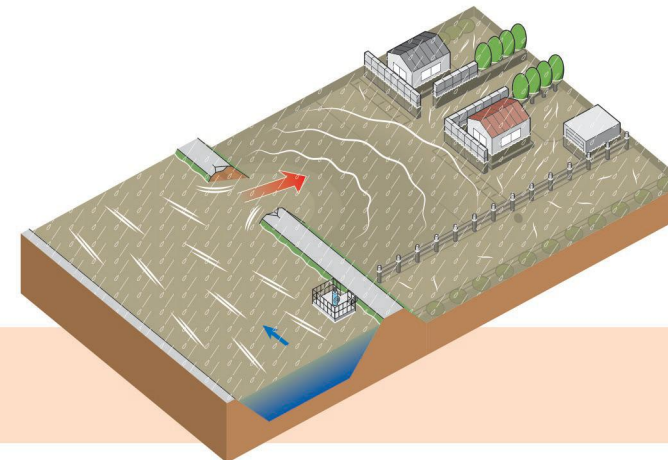
外水氾濫のイメージ



雨が降ると川の水位が上昇してきます。

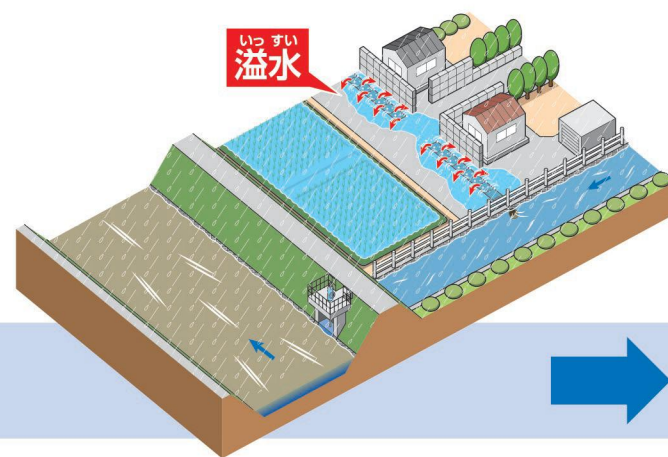


さらに雨が降りつづいた場合、堤防を越水したり、堤防が決壊したりして、家屋等が浸水します。これが『外水氾濫』です。

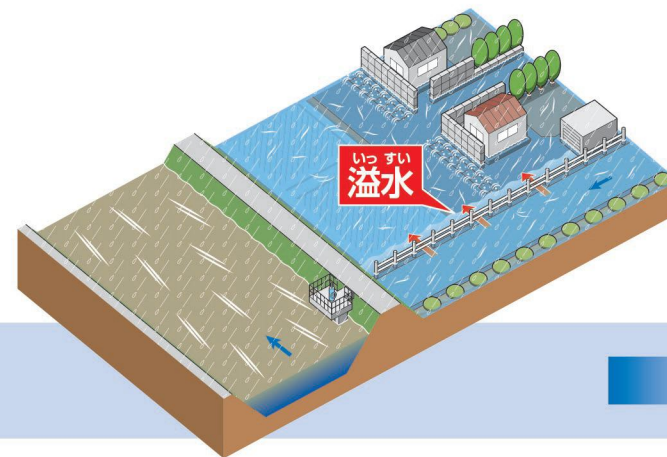


ひとたび外水氾濫が起こると、氾濫した水はすごい勢いで流れ込み家屋等を飲み込んでいきます。できるだけ早く情報を入手し、高い所へ避難する必要があります。

内水氾濫のイメージ

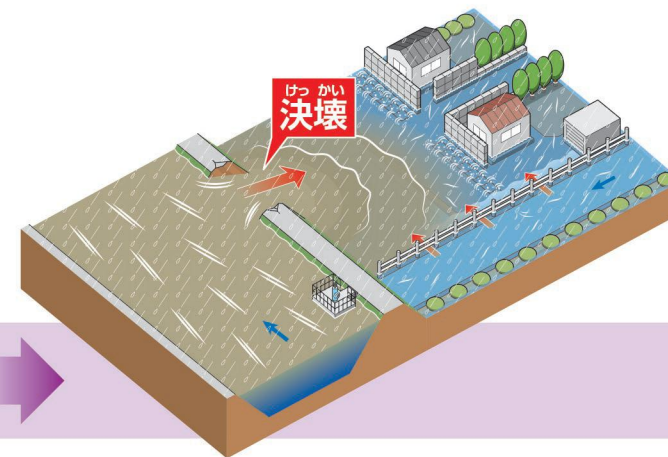


雨が降ると川の水位が上昇してきます。そのため、小さな川が流れにくくなり低い田畑に水がたまったり、道路側溝から水が溢れだします。



さらに雨が降りつづき、川の水位が上昇すると、小さな川（水路）から水が溢れだし、道路や家屋が浸水します。これが『内水氾濫』です。

内水+外水氾濫のイメージ



さらに雨が降りつづいた場合、内水により浸水した箇所に、堤防の越水や決壊による外水氾濫が発生し、さらに大規模な浸水となることも想定されます。



皆さん
知っておいて
ください。

用語の説明

がいうい
「外水」： 河川を流れている水

ないすい
「内水」： 堤防で守られた内側の土地にある水

けっかい
「決壊」： 堤防が壊れること

いっすい
「溢水」： 水があふれること

えっすい
「越水」： 水が堤防を越えること